



森と水の源流館 だより

April, 2010 vol.88

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の四「書き付け」

意味:隣山との境界または目につきやすい立木の荒皮を削り、山見回りの時に山主名、年月日、山守名などを書いたもの

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。



↑ 小学校 4 年生向教材

みんなが飲んでるおいしい水はどこからやってくるんだろう？

おいしい水のふるさと川上村へ、春の遠足で子供たちがやってきます。蛇口の水から吉野川をたどっていくと、きっと水の大切さがわかるはず。水を守るために森を守ること、川上村の暮らしのことを森と水の源流館で勉強して帰ります。

5月予定

- 7日(金) 香芝市立真美ヶ丘東小学校4年生、香芝市立二上小学校4年生
- 11日(火) 広陵町立真美ヶ丘第二小学校4年生
- 13日(木) 田原本町立田原本小学校4年生、橿原市立畝傍南小学校4年生
- 14日(金) 天理市立前栽小学校4年生、橿原市立耳成西小学校4年生、広陵町立広陵東小学校3・4年生
- 18日(火) 田原本町立平野小学校4年生
- 21日(金) 高田市立磐園小学校3・4年生

まだ間に合うイベント案内▶

4/25(日) 水源地の森ツアー

- 定員: 20名 大学生～
- 参加費: 大人 4,000(3,200)円 / 小中高 2,600(1,900)円

5/8(土) 源流学の森づくり

- 定員: 15名 小学5年生～
- 参加費: 大人 1,500円 / 小中高 1,000円

●今回は一般の方も体験参加できます

※お申込み・お問い合わせは、森と水の源流館まで

※()内の料金は源流人会会員割引価格

※小学生以下の参加は保護者の参加も必要

村民無料デー!

村民の方ならびにご同伴の方、最大10名様まで。左の券で、1回限りの有効です。

2010年4月29日(祝・開館記念日)のみ

注意!

pdfファイル版の

村民無料券は無効

3/13 吉野川紀の川しらべ隊

今回は蜻蛉の滝で、冬越しをしている虫たちをさがしてみました。講師の伊藤ふくおさんには著書の図鑑を景品にかけた虫さがしゲームをしていただき、また朝倉和紀さん（環境省アクティブレンジャー）は見つけにくい地上のはいかい性昆虫についてくわしく教えていただきました。

今年国連の生物多様性年、そして、生物多様性に関わる国際会議 COP10 が日本で開催されます。最近、よく耳にする生物多様性の大切さは、平たく言うとたくさんの生き物が支え合っているということにつながります。裏を返せばたくさんの生き物がいなくなると人間も生きていけなくなるということです。

今年、川上村の中の生き物を特にクローズアップして開催していきます。川上村の自然は世界に誇るべき宝物といっても過言でもない貴重な生き物たちの宝庫です。そんな生き物たちを「吉野川紀の川しらべ隊」では追っかけていきます。講師には各回、その分野の専門家をおまねきして解説していただいています。機会があればぜひご参加下さい。



↑朝倉先生に聞いたら何でも教えてくれるよ～



↑伊藤先生が見つけたオオゴキブリは大人にも子どもにも大人気！やっぱり森の生き物って奥深い。



3/28 きんき環境館へ行ってきました

森と水の源流館では、「水源地の村づくり」、「川上宣言」の具現化に向けた取り組みを行っています。よりたくさんの人に知ってもらい、仲間となってもらうために色々ところへおじゃまさせていただいています。



今回は近畿地方の環境への取り組みを行っている団体を結ぶきんき環境館のパートナーシップ団体の集いに参加してきました。これからも色々な団体とも協力して、より強固に源流からの発信をしていきます。そのためにも色々ところへ出向いていきます。みなさんの旅先でもひょっとして出会うかもしれません。そのときはぜひ声をかけて下さいね。

4/3・4 奈良県暮らしと環境フェスティバル出展

「第7回奈良県暮らしと環境フェスティバル」に出展しました。天気にも恵まれ、2日間で1万人もの人が訪れて大賑わいでした。これは森と水の源流館の活動にご協力いただいている、NPO法人奈良21世紀フォーラムの出展の一部をお借りしたもので、「源流・川上村」PRのため、水道水と川上村の湧き水の飲み比べ、吉野杉を使った工作体験などを行いました。



↑工作体験には360名が参加しました。
←湧き水と水道水の飲み比べ。なかなか難しかったです。